

旭 農

PTA ニュース

編集
発行

北海道旭川農業高等学校PTA事務局

2026年7月21日
(令和8年度)
No.153

未来へ向けて

種をまく一年に

PTA会長 有野 有紀



春のやわらかな陽さしの中、新入生を迎え、令和八年度の学校生活がスタートいたしました。

新入生の皆さん、そして保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。新たな環境での学校生活に、期待と不安があると思いますが、農業高校でのさまざまな学びや経験を通して、大きく成長されることを願っております。

また、在校生の皆さんも、新たな気持ちで新年度を迎えられたことと思います。

保護者の皆様には、日頃よりPTA活動へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。また、校長先生をはじめ先生方、学校関係者の皆様には、生徒たちを温かく見守り、支えていただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、在校生の皆さんも新しい学年を迎えました。

二年生は後輩を支える立場として、三年生は進路実現に向けて学校をリードする存在として、それぞれの目標に向かって充実した一年を過ごしてほしいと思います。

と思います。

農業高校での学びは、種をまき、手をかけ、時間をかけて育てることの大切さを教えてくれます。皆さんも夢や目標という「種」を大切に育てて、実りある一年にしてほしいと願っています。

今年度、PTA会長として、保護者の皆様、先生方、そして地域の皆様と力を合わせながら、生徒たちの成長を支えてまいります。今後とも、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

共に育む、

生徒たちの豊かな挑戦

校長 赤穂 悦生



PTA会員の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして深いご理解と温かいご支援と賜り、心より感謝申し上げます。

夏本番を迎え、校舎の周囲に広がる作物も日に日に成長し、農場には生徒たちの活気ある声が響いております。新年度がスタートしてから早くも三か月が過ぎ、夏季休業を迎えようとしています。PTAの皆様におかれましては、お子様の学校生活を日々支えていただいておりますことに、改めて厚く

お礼申し上げます。

今年度も本校では、「学びを実践につなげる農業教育」を柱に、各学科の特色を生かした教育活動を展開しております。農場実習や栽培・飼育活動をはじめ、地域企業や関係機関と連携した商品開発、地域イベントへの参加、先進的な農業技術の学習など、生徒たちは教室だけでは得ることのできない多くの経験を積んでおります。実際に自ら考え、仲間と協力しながら課題解決に取り組む姿からは、確かな成長を感じることが出来ます。

また、学習活動だけでなく、部活動や学校行事にも意欲的に取り組む生徒が多く見られます。部活動では全道大会や各種競技会に向けて日々努力を重ね、農業クラブ活動ではプロジェクト学習や意見発表などを通して専門性を高めるとともに、主体性や協働する力を育んでいきます。この活発な活動を支えてくださっているのが、PTA・クラブ後援会の皆様による物心両面にわたる多大なご支援です。遠征への補助や備品の整備など、皆様のバックアップがあるからこそ、生徒たちは不安なく高い目標に挑戦できております。改めて深く感謝申し上げます。

今日の社会は、食の安全・安心への関心の高まりや、環境・持続可能性への意識の変化など、農業を取り巻く状況が大きく変わりつつあります。スマート農業やフードテックといった新しい技術も急速に進展しています。こうした時代だからこそ、本校が長年培ってきた「現場に立ち、自分の手を動かす、五感で感じる」という実践的な学

びの姿勢が、一層輝きを放つと確信しています。

今後も、PTAの皆様と力を合わせ、生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす教育を進めてまいります。引き続き変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和八年度 新入生宣誓



冬が過ぎ、春の陽射しが温かく感じられる今日、私たち一四〇名の生徒はこの伝統ある北海道旭川農業高等学校に入学を許可されました。

これからの高校生活への期待や希望を膨らませながら、これまで見守り支えてくれた方々とともに喜び、そして感謝したいと思います。

これからの三年間、学習に励み、豊かな自然に囲まれたこの校舎で先輩方が築き上げた伝統を受け継ぎ、自分の夢や目標に向かって最大限に努力します。

北海道旭川農業高等学校の生徒としての自覚を持ち、誠実、勤労、剛健の校訓のもと精進することを誓います。

令和八年四月八日
新入生代表 食品科学科 中村心美

第一学年担任紹介

農業科学科一年担任 宮田 桃伽

入学して数ヶ月が経ち、生徒たちは新しい環境の中で日々さまざまな経験を重ねています。作業服を着て、農業高校ならではの学びに意欲的に取り組む姿も多く見られるようになってきました。担任として共に過ごす日々の中で、生徒の表情も次第に和らぎ、笑顔で過ごす場面が増えてきたことを大変嬉しく感じております。

生徒一人ひとりに寄り添い、安心して

て学びに向かえる学級づくりを大切に、成長の一助となるよう努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

食品科学科一年担任 横田 陸

入学して数ヶ月が経ち、生徒たちが旭農での学びを楽しんでいる様子をよく目にすることができるようになり、大変嬉しく思っています。

高校生活の三年間は長いように感じられますが、振り返ればあっという間に過ぎていくものです。

このかけがえのない三年間の中で、多くの経験や体験を積み重ねながら、生徒一人ひとりが社会人として自立できるよう、しっかりと支援してまいります。

三年間どうぞよろしくお願いいたします。

森林科学科一年担任 須山 佳彦

入学から三ヶ月が経ちました。明るく元気な三十名の生徒たちと過ごす毎日とはとても活気があり、担任にとっても励みになっていきます。これからの三年間、生徒一人ひとりが卒業のときに「旭農で頑張ったよ」と思えるよう、学習面・生活面の両方からしっかりと寄り添い、成長を支えていきたいと考えています。保護者の皆様には、今後とも温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

生活科学科一年担任 柳沼 和雅

入学して数ヶ月が経ちました。新しいクラスメイトと共に、切磋琢磨しながら日々の学習に取り組んでいる様子が見られています。

入学式の時に「高校生活を振り返ったときにこれは頑張れた」と胸を張って言えることを作ってほしいと生徒にお伝えしました。担任として、生徒一人ひとりと向き合いながら、生徒自身が目標を持って行動できるようにサポートしてまいります。

生徒が充実した学校生活を送ること

ができるように頑張っていきたいと考えておりますので、今後も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしく願っています。

PTA・クラブ後援会より

【PTA・クラブ後援会総会報告】

四月二十四日(金)、本校多目的教室において令和八年度PTA・クラブ後援会総会が行われました。総会では前年度の事業報告、会計決算報告、今年度の事業計画、会計予算、役員改選といった案が、原案どおり可決承認されました。



令和八年度役員敬称略

(PTA)

会長 有野 有紀 1L・2F
副会長 村椿 夕子 3M

監事 吉田 千波 1L
米田 留美 3A
羽馬 福美 3F

(クラブ後援会)

会長 笠井 好晃 3A
副会長 五十嵐 公恵 2F
櫻井 憲太 1F

監事 後藤 美保子 2L
出川 ゆきえ 3A

理事 藤田 恵 3A

(学級代議員)
3A 上本 睦美 佐治 恵理
3M 荒川 香織 種市 佳世

【道高P連空知大会参加報告】

六月六日(土)・七日(日)と空知地区を当番校として全道高等学校PTA連合大会が開催されました。本校からはPTA役員二名と校長、教頭を合わせて計四名で参加しました。「多角的な視点(拠点)」による発想とチャンス」を演題とした鈴井貴之氏の講演や「地域の未来をひらく(学校教育×金融機関×地域)連携の可能性」をテーマとした分科会協議等、非常に充実した研修会となりました。本大会の学びを本校のPTA活動へと繋げていきます。

3F 及川 美穂 橋本 幸江
3L 柴田 悠希 鈴木 彩
2A 岡野 千鶴 佐々木美菜代
2M 佐藤 弥生 山口 麻樹
2F 佐藤 友記 萩生祐三
2L 高堰 早智子 平塚由加里
1A 青木 美由喜 宮田 正人
1M 千葉 里美 藤原 裕子
1F 土屋 俊介 水上めぐみ
1L 小野寺紗矢香

高体連を振り返って

陸上部部長

森林科学科三年 佐藤 真基



私たち陸上部は、旭川市の花咲スポーツ公園陸上競技場で行われた高体連に出場しました。私たちは日々練習を積み重ね、自己ベスト更新や全道大会への出場を目標に頑張ってきました。高体連は三日間あり、大雨や強風に見舞われることなく、コンディションのいい中で大会に望むことができました。競技では、それぞれが自己ベスト更新や全道大会の出場枠を取れるように全力で挑みました。結果は部員九人中、一人が全道大会に出場することができました。後輩の皆さんは次の大会となる、記録会第四戦や新人

サッカー部部長

農業科学科三年 藤田 理玖



戦に向けてさらなる成長を目指してください。最後に、ここまで陸上を続けることができたのも、日常生活を支えてくれた保護者や顧問の先生方のおかげです。後輩たちは「感謝」「継続」「あの一瞬の喜び」を忘れずに頑張ってください！一走入魂！

私たちは五月二十三日に東光スポーツ公園で行われた、第七十九回北海道高等学校サッカー選手権大会旭川支部予選に出場しました。対戦校は、旭川志峯高校で多くの結果を残している強豪校だったこともあり、今まで以上に気合いを入れて放課後の練習に取り組みました。そして迎えた試合当日、部員十八名が誰一人欠けることなく全員が全力を出し切りました。結果は、〇対六という大差をつけられ一勝を掴むことができませんでした。悔しい結果で終わりましたが、それでも部活動に打ち込んできたこの三年間は楽しく、一生の宝物になりました。一緒に頑張ってきた仲間たちや支えてくれた顧問の先生方、保護者の皆様、本当にありがとうございました。このサッカー部が大好きです。

女子バレーボール部部長

食品科学科三年 石川 杏



私たちは、「繋げ」を目標にチーム一丸となり、練習に取り組んできました。試合では一人一人が最後まで諦めずにボールを追いつけ、最後まで笑顔でプレーできたので、チームのみんなには感謝しきれないです。惜しくも勝利には届きませんでしたが、この試合は私にとって忘れられない一戦になりました。これまで練習で積み重ねてきた努力を発揮することができ、仲間と声

卓球部部長

食品科学科三年 半澤 恵美



を掛け合い、支え合うことの大切さを改めて実感しました。三年間支えてくださった先生方や保護者の方、最後まで戦ってくれたチームのみんな、応援してくださった方々、本当にありがとうございました。

今年の高体連では、強いチームとの対戦時に、どんな場面でも自信を持ってプレーすることができました。実力の差は大きくなっても、「自分たちはできる」と信じているチームは最後まで堂々としており、とても印象に残っています。毎日の練習では、部長としてチーム全体の雰囲気作りや、練習メニューの考案などに力を入れてきました。時には思うようにいかず悩むこともありましたが、その経験も大切な学びとなりました。また、最後まで共に頑張ってくれた仲間にも、感謝の気持ちでいっぱいでした。全道大会という舞台に連れていけなくて、とても悔しい思いをしました。この経験をバネに後輩たちはより良い結果を残してくれることを願っています。部活を引退した今、私たちに何ができるのかを考えたいです。部長として活動する中で、先生方や家族、友達など多くの方に支えてもらって、成長を学んだ三年間は、私にとって大切な経験になりました。これまでも支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。これからも卓球部の応援をよろしくお願いいたします。

弓道部部長

食品科学科三年 澁谷 零音



勝ち進み、男子は準優勝、女子は優勝することができました。個人戦では複数人が予選を通過することができました。そして男子個人一人、女子個人一人、男子団体、女子団体が全道大会進出権を獲得しました。惜しくも全道を逃してしまいましたが、最後まで諦めることなく、一本一本集中することができました。

ここまで指導して下さった先生方、共に高め合ってきた部員、たくさん応援やサポートをしていただいた保護者の皆様のおかげで、楽しんで弓道をすることができました。本当にありがとうございました。

ソフトテニス部部長

森林科学科三年 澤山 真司



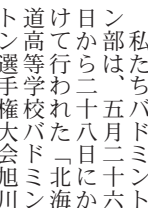
私たちはソフトテニス部は、男女合計二十名で、全道大会出場を目標に日々練習に取り組んでいました。少しでも成長できるように練習では仲間達と声を掛け合い、アドバイスを交わしてきました。その中で私自身も何度も部員みんなに助けられました。

高体連では、目標の全道大会出場は残念ながら叶いませんでした。しかし、個人戦では二、三年生全員が一回戦を突破し、団体戦では四年振りとなる決勝トーナメント進出を果たすことができました。目標には届かなかったものの、自分たちの努力が結果として現れた大会でした。

思い返せば、恵まれた練習環境ではなかった部分もありましたが、先生方が環境を整備してくれたり、自主練習に付き合ってくれたおかげで、最後まで自分たちのプレーに集中することができました。

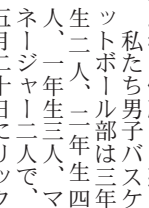


佐藤 大夏

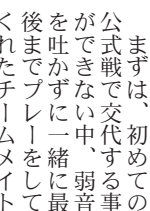


支部予選会に出場しました。団体戦ダブルス戦、シングルス戦と、三日間にわたる大会でしたが、出場した選手の一人一人がこれまでの練習の成果を出し切ることでできたと思います。特に三年生にとっては最後の大会ということもあり、自分を信じ、シャトルの一本一本を大切にしながら粘り強く試合に挑みました。結果は満足のいくものばかりではありませんでしたが、この三年間の経験は私たちを大きく成長させてくれました。私は、この部活を続けてきて本当によかったと心から思っています。最後に、これまで互いに高め合ってきた最高の仲間たち、熱心に指導してくださった顧問の先生方、そしていつも温かくサポートしてくれた保護者の方々に、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

佐藤 蓮

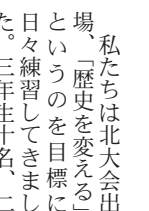


生活科学科



とができました。また試合開始時間が午後だったこともあり、多くの方に応援していただきとても嬉しかったです。今までこうして頑張ってきたのは一緒に頑張ってきたチームメイ
ト、支えてくださった先生方や保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

部主将



私たちは北大出場、「歴史を変える」というのを目標に日々練習してきました。三年生十名、二年生九名、一年生四名、マネージャー二名で夏の大会に臨みました。私たちの代では自分たちで練習メニューを考え、自主性を大切に練習に取り組んできました。どうやってチームをまとめ

て引張っていくのか悩むこともありましたが、厳しき冬の練習を乗り越え、チームが一つになることができ、練習や試合に臨むことができました。夏の大会では、勝つことはできませんでしたが、多くの方々の大声援の中で、プレーさせていただきました。ありがとうございます。新チームでは自分たちが叶えることができなかった北大会出場にむけて頑張ってくれたいと思います。引き継ぎ野球部への応援をよろしく願います。



◆陸上部
◎第36回道北春季陸上競技選手権大会

- [illegible]

